

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製 品 名 : モノタロウ ラバー劣化防止スプレー NET 300ml

会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ

作成日 : 平成25年05年30日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性／引火性エアゾール	区分1
引火性液体	区分外

健康に対する有害性

急性毒性 (吸入: 気体)	区分外
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2
特定標的臓器／全身毒性 (単回暴露)	区分3 (麻酔作用)
特定標的臓器／全身毒性 (反復暴露)	区分外

※上記に記載が無い危険有害性は、分類対象外か分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

ラベル表示物質 : なし

危険有害性情報

- ・極めて可燃性／引火性の高いエアゾール
- ・強い眼刺激
- ・眼気またはめまいのおそれ

3. 組成、成分情報

物質の特定 単一製品・混合物の区別 : 混合物 (エアゾール製品)

成分情報及び含有量 :

化 学 名		化学式 又は構造式	官報公示整理 番号 化審法	CAS No.	安衛法通知 対象物質	PRTR法 報告物質	含有量 (質量%)
内容液	潤滑油基油(合成油)	—	—	—	対象外	対象外	50~60
	潤滑油添加剤	—	—	—	対象外	対象外	3以下
噴射剤	プロパン	C ₃ H ₈	対象外	74-98-6	対象外	対象外	5~15
	ブタン	C ₄ H ₁₀	対象外	75-28-5、106-97-8	該当	対象外	30~40

4. 応急処置

吸入した場合：新鮮な空気の場所に移す。身体を毛布などで覆い、保温して安静に保ち、必要なら医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：水と石けんで付着した部分を洗う。

目に入った場合：清浄な水で最低15分間眼を洗浄したのち、医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合：無理に吐かせないで、直ちに医師の手当てを受ける。口の中が汚染されている場合には、水で充分に洗う。

5. 火災時の措置

消火剤：粉末 炭酸ガス 泡砂

特定の危険有害性：火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがある。

消火方法：消火活動には距離を十分にとること。

初期の火災には、粉末 炭酸ガス 泡砂等の消火剤を用いる。

棒状水の使用は、火災を拡大して危険な場合がある。

大規模火災には泡消火剤を用いて空気を遮断する。

高温にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。

消防を行う者の保護：消防作業は、自呼吸式呼吸器等の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：風下の人を避難させ、漏出した場所の周囲に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)着用し、皮膚への付着や、蒸気の吸入に注意する。

環境に対する注意事項：付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

除去方法：着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

衝撃、静電気にて、火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

漏れ発生時(噴出時)には風上より処置を行うようにし、容器の露出部は上向きにし、完全にガスを噴出してから処置をする。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。

少量の場合：乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて、密閉できる容器に回収する。

大量の場合：盛土で囲い流出を防止し、安全な場所に導いてから回収する。この際、下水、側溝等に入り込まないように注意する。漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

7. 取扱い及び保管上の注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため下記の注意を守ること。

取扱い：火気と高温に注意。

炎や火気の近くで使用しないこと。

火気を使用している室内で大量に使用しないこと。

火の中に入れないこと。

取り扱いは換気のよい場所で行うこと。

通風をよくし、蒸気が滞留しないようにする。

密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具をつけて作業すること。

保管：高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や、火気等の近くなど温度が40°C以上となるところに置かないこと。
子供の手の届かないところに保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

成 分		管理濃度 (ppm)	許 容 濃 度 (ppm)	
			日本産業衛生学会	ACGIH(TLV-TWA)
内 容 液	未設定		未設定	未設定
噴射剤	プロパン	未設定	1000	1800 (mg/m³)
	ブタン	未設定	1000	1800 (mg/m³)

設備対策：屋内作業場での使用の場合は、発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。

取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保 護 具

呼吸器の保護具：必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）

眼の保護具：ゴーグル型保護眼鏡、防災面

手の保護具：溶剤用手袋など不浸透性のもの

皮膚及び身体の保護具：必要に応じて保護前掛け、保護長靴などを使用する。半袖の作業着は避ける。

9. 物理的及び化学的性質

内 容 液

外観：微褐色液体

臭い：臭気あり

引火点：250°C以上 (COC)

爆発限界：下限：1vol% 上限：7vol% (推定値)

密度：約1.00g/cm³ (15°C)

溶解性：水に対する溶解性：不溶

噴 射 剂

	プロパン	ブタン
外観：	無色気体	無色気体
密度：	0.501	0.557～0.579
蒸気比重：	1.60	2.00～2.10
蒸気圧：	0.744MPa(20°C)	0.107～0.202MPa(20°C)
沸点：	-42°C	-0.5～-12°C
融点：	-187.69°C	-138.3～-159.4°C
引火点：	-104°C	-60～-81°C
発火点：	450°C	365～460°C
爆発限界：	2.1～9.5vol%	1.8～8.4vol%
溶解性：	水に不溶	水に不溶

10. 危険性情報（安定性・反応性）

内 容 液

安 定 性：通常の条件では安定。

反 応 性：強酸化剤との接触を避ける。

避けるべき条件：ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する。

避けるべき材料：現在のところ有用な情報なし。

危険有害な分解生成物：燃焼の際は一酸化炭素等が発生する可能性がある。

噴 射 剂

通常の取扱いにおいては安定である。

1 1. 有害性情報

内 容 液

急性毒性 : 経口 ラット LD₅₀ : 5g/kg以上

皮膚腐食性・刺激性 : 現在のところ有用な情報なし。

眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 眼刺激がある。

感作性 : 現在のところ有用な情報なし。

生殖細胞変異原性 : 現在のところ有用な情報なし。

発がん性 : 基油 : IARCやNTPには収録されていない。

添加剤 : 現在のところ有用な情報なし。

生殖毒性 : 現在のところ有用な情報なし。

特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) : 現在のところ有用な情報なし。

特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) : 現在のところ有用な情報なし。

吸引性呼吸器有害性 : 現在のところ有用な情報なし。

噴 射 剂

(プロパン)

急性毒性 : 10,000ppm／短期暴露何ら症状もなし。

100,000ppm／短期暴露数分吸入後にめまい。

刺激性 : 皮膚 長時間触れると炎症、湿疹を起こす。

目 粘膜等を刺激する。

その他 : 若干の麻酔性有り

(ブタン)

急性毒性 : 吸入 マウス LC₅₀ 680mg/l(約26%) 2時間

ラット LC₅₀ 658mg/l(約26%) 4時間

刺激性 : 皮膚 長時間触れると炎症、湿疹を起こす。

目 粘膜等を刺激する。

その他 : 若干の麻酔性有り

(注) LD₅₀ : 半数致死量 (mg/kg) LC₅₀ : 半数致死濃度 (ppm)

1 2. 環境影響情報

生態毒性 : 現在のところ有用な情報なし。

残留性・分解性 : 現在のところ有用な情報なし。

生態蓄積性 : 現在のところ有用な情報なし。

土壤中の移動性 : 現在のところ有用な情報なし。

1 3. 廃棄上の注意

- 必ず中身を使い切り、中身がないことを確認して廃棄する。

・廃棄は、各自治体の指示に従って行う。

1 4. 輸送上の注意

国連分類：（クラス2. 1） 高圧ガス

国連番号：1950

注意事項：取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

容器からの漏れがないことを確認し、運搬中荷崩れで転倒、落下による容器の損傷が起こらないように充分な手段を講じる。

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、他法令の輸送について定めるところに従う。

海上輸送：船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送：航空法に定めるところに従う。

1 5. 適用法令

高圧ガス保安法：適用除外（液化ガス 可燃性ガス）

消防法：指定可燃物（可燃性液体類）

労働安全衛生法：別表第1危険物 5. 可燃性のガス

通知対象物質 ブタン

表示対象物質 該当せず

P R T R 法：該当せず

船舶安全法：危険物（高圧ガス）

航空法：高圧ガス

1 6. その他の情報

記載内容の取り扱い：

- ここに記載された情報は現時点で正確な物と考えられますが、危険・有害性の評価は必ずしも完全な物ではなく、新知見によって変わることがあります。

また、需要家の皆様の使用条件は弊社の管理外の事項となりますので、取り扱いには十分注意して下さい。

引用文献：

・製品安全データシートの作成指針 日本化学工業協会

・化学物質等法規制便覧 化学工業日報社

その他として、各原料メーカーのMSDSに準拠する。